



道するべ

第12号
平成24年3月

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

シンポジウムを開催しました。

平成24年2月10日に地域の道路インフラを考える」、3月9日に「日本を元気に！熱血土木談義」をテーマに、2回にわたりシンポジウムを開催しました。シンポジウムには、道守受講者、長崎県内の自治体職員、建設業及びコンサルタント関係者、講師、大学関係者等多数の参加がありました。

長崎新聞文化ホールで開催された、シンポジウム「地域の道路インフラを考える」では、主催者を代表して長崎大学の片峰学長より開会の挨拶があり、続いて長崎県土木部を代表して前川様より挨拶がありました。シンポジウム前半の基調講演では独立行政法人科学技術振興機構の清水了典様より『地域再生人材創出拠点の形成～「道守」養成ユニットの成果と継続～』をテーマにご講演され、特別講演では独立行政法人土木研究所構造物メンテナンス研究センターの桑原徹郎様より『橋梁メンテナンスにおける課題と取組み』、香川高等専門学校建設環境工学科の太田貞次先生より『香川県内市町が管理する橋の現況報告と長寿命化対策』と題してご講演いただきました。後半の話題提供では各地地域の事例として、長野県下條村の事例を下條村村長の伊藤喜平様、福島県の事例を日本大学土木工学科の岩城一郎先生、長崎県の事例を長崎県土木部道路維持課長の田崎敏昭様、国の事例を国土交通省道路保全企画官の末吉秀幸様より話題提供をいただきました。



片峰学長より挨拶



会場の様子



清水了典様
(科学技術振興機構)



桑原哲郎様
(土木研究所)



太田貞次先生
(香川高等専門学校)

その後前半の基調講演、特別講演でご講演いただいた3名の方と話題提供をいただいた4名の方とモデリストの松田浩教授（インフラ長寿命化センター長）とのパネルディスカッションでは、地域の道路インフラの維持管理についての思いや考えを熱く討論されました。



松田センター長（モデリスト）

パネルディスカッションの様子

次に長崎大学中部講堂で開催された、シンポジウム「日本を元気に！熱血土木談義」では、山下副学長の挨拶より開会のあいさつに引き続き、平成23年度“道守”養成ユニットの実施報告が行われました。実施報告では、インフラ長寿命化センターの森田千尋准教授より、平成23年度までの各コースにおける養成状況、道守認定者の主な活動や成果について報告があり、今後も“道守”養成ユニットの継続に検討していきたいと話されました。

特別講演では、国土交通省九州地方整備局企画部の乗野修司様が『「活力ある九州」の実現に向けた社会資本整備』。京都大学大学院の藤井聡先生が『公共事業が日本を救う～今こそ「レジリエンス」あるくにつくりを』と題し講演していただきました。

藤井教授は講演の中で、「近い将来に発生が予想される巨大地震に耐えうるよう日本を強靱（きょうじん）化するためには、東海地震を想定し東西交流を促進するためのインフラ整備を進めるとともに、首都圏と太平洋ベルトの都市機能およびGDPを日本海側や九州、北海道に分散移転させるべき。そのためには新幹線を中心とした都市間をつなぐ高速交通インフラの整備が極めて効果的であり、長崎や高速交通体系が未整備の東九州地域への新幹線の整備も必要。」と話されました。



山下副学長の挨拶

藤井先生（京都大学）

乗野様（国土交通省）

パネルディスカッションでは、横浜国立大学大学院の細田暁先生が『コンクリート構造物の品質確保・性能確保を通じたポジティブスパイラルシステムの構築』。徳山工業高等専門学校の前田隆弘先生が『「たかがひび割れ、されどひび割れ」コンクリートのひび割れが教えてくれること山口県のひび割れの抑制システムづくりから』と題して、山口県における産学官の協働によるコンクリートのひび割れ抑制対策の取組みについて話題提供され、より耐久性のあるインフラ整備が、豊で元気な社会につながると話し、「何が大切か分かって施工することが大事」だとの考えを示されました。

その後、長崎大学の埴田彰秀教授をモデリストとして、講演者と話題提供の4名に、(社)長崎県建設業協会の谷村隆三会長と松田浩センター長を加えてパネルディスカッションが行われました。栗野修司様は、東日本大震災の応急復旧における『くしの歯作戦』では、「建設業関係者が、最初に瓦礫撤去や作戦決行への道路補強などを行った。自衛隊が最初ではない。手つかずの所に、道筋をつけたのは建設関係者であり、高速道路網の整備により、啓開を行うことができた」などとインフラ整備が早期復旧への一助となったことも報告されました。谷村会長は、1月に長崎県建設業協会主催で開かれた講演会について紹介後、「一般からの参加を狙ったもの。全ての産業は土木に通ずる、建設業以外の分野の人々も巻き込んで相互理解の上で投資の優先順位を考えることが世論の醸成につながる」などと熱く討論されました。



埴田先生 (モデリスト)



パネルディスカッションの様子



谷村会長 (建設業協会)



田村先生 (徳山高専)



細田先生 (横浜国立大学)

平成 24年度受講生募集中!

現在、平成 24年度を受講生の募集を行っています。申請書の受付期間は、3月1日(木)～4月9日(月)までです。現在、募集を行っているのは、道守補(前期)コース、特定道守コース、道守コースの3コースとなっており、道守補助員コースと道守補(後期)コースは、別途募集を行います。

講義内容としては、橋やトンネルなどの道路関連施設などのインフラ構造物の維持管理に関する課題を題材とした講義と、講習および点検実習を中心に行い、各コースとも全講義終了後に認定試験を行います。いずれも受講料は原則無料ですが、教材費・実習費・保険費等の一部や交通費をご負担いただく場合があります。

募集人員は、道守補(前期)コース 10名程度、特定道守コースがコンクリート構造コース、鋼構造コースそれぞれ3名程度、道守コース3名程度です。受講希望者は、当センターにお問合せください。また、募集要項及び応募書類はホームページにも掲載しております。

募集要項

認定後の活動状況。

認定者のみなさまにご提出いただきました平成 23年度道守認定後の活動報告（平成23年1月～12月）をお知らせします。今回の報告件数の内訳は右表のとおりです。

ホームページ上に、平成23年度の各種行事の参加記録を掲載しております。ご確認ください、未申請の活動がある場合は追加申請をお願いします。

平成24年度も引き続き活発なご活動をよろしくお願いたします。

※今年からの活動報告はウェブ上で申請可能となります。申請方法等の案内は後日お送りさせていただきます。

資格取得	: 2件
道に関するボランティア活動への参加	: 64件
道守シートの提出	: 50件
道守養成講座特別講演等に参加	: 78件
道守養成講座の現場実習に参加	: 26件
道の維持管理に関する業務に参加	: 37件
道守養成講座に関する講師として参加	: 27件
その他	: 5件

道守のみちのり(1月～3月)

当センターの主な活動内容を紹介します。

- ・12/01/13 第3回 道守運営協議会幹事会開催。
- ・12/01/18 第3回 道守運営協議会開催。
- ・12/01/25 先端科学技術シンポジウムにて松田センター長が道守について講演。
- ・12/01/31 道守各コースの合格発表。
- ・12/02/10 シンポジウム「地域の道路インフラを考える」を開催。
- ・12/02/16 「インフラ・イノベーション」研究会（東京）にて松田センター長が講演。
- ・12/02/23 第581回建設技術講習会（アセットマネジメントと公物管理の課題）で松田センター長が道守について講演。
- ・12/03/09 シンポジウム「日本を元気に！熱血土木談義」を開催。
- ・12/03/12 「ながさきサンセットロード」推進協議会に参加。
- ・12/03/16 「計算力学フォーラム in 長崎」で松田センター長が道守について講演。

道守事務局より一言

道守養成ユニットも4年目を終了し、道守認定者は道守補助員も含め270名に達しました。

今年度は2月と3月にシンポジウム・成果報告会を開催しましたが、有意義な講演を聞くことができ、また道守としての役割の大切さを再確認された事と思います。

桜の便りも聞かれるようになりました今日この頃、お花見を楽しみながら、ちょっと道路の観察などと「ミチモリ眼」をキラリ☆！と光らせてみてはいかがでしょうか。

ただ今平成24年度の受講生を募集中です。ご応募お待ちしております。（松永）

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori>



戦略推進費

※ 道守養成ユニットは文部科学省科学技術戦略推進費で運営しています。